

第3次鎌倉漁港対策協議会（第1回会議～第4回会議） 協議経過等

資料2

<p>第1回会議：平成21年3月26日（木） 13時30分～15時00分 全員協議会室</p>	<p>第2回会議：平成21年8月21日（木） 15時00分～17時30分 402会議室</p>	<p>第3回会議：平成22年2月5日（金） 10時00分～12時00分 全員協議会室</p>	<p>第4回会議：平成22年7月16日（金） 10時00分～12時20分 講堂</p>
<p>審議事項</p> <p>1 これまでの検討経過と今後の進め方</p> <p>● 市長あいさつから（前石渡市長）</p> <p>今回の第3次協議会では、第1次・第2次漁港対策協議会の検討結果を踏まえて、</p> <p>①漁業者要望案を検討材料として、鎌倉地域に建設する、必要最小限の機能を有する(仮)鎌倉漁港の具体的位置や規模・機能について</p> <p>②この検討を基本として、地域や市民が享受できる付加すべき機能とその効果についての検討をお願いしたい。</p> <p>1 これまでの検討経過と今後の進め方（確認事項）</p> <p>①第1次、第2次の漁対協の検討結果を十分に尊重しながら進める。</p> <p>②必要最小限の機能を有する鎌倉漁港を造ることで、議論をすすめる（全委員了承）。</p> <p>③第2次漁対協で結論を得た坂ノ下船揚場付近（C案）から市民プール全面付近（B案）までの地域を候補地とすることを了承した。</p> <p>今後の議論では、過去の調査の記録を参考にすると共に専門家の所見をもらう。</p> <p>④市民利用については市の総合計画や海浜公園計画等の他計画との整合性も含め次回事務局から説明をする。</p> <p>⑤具体的なタイムスケジュールを入れた全体工程表を事務局で作成し、提示する。工程はできる限り前倒しをする。</p>	<p>審議事項</p> <p>1 漁港の漁業者要望案の検証結果について</p> <p>2 漁港の位置について</p> <p>3 市民利用に係る他計画との整合性について</p> <p>4 全体工程について</p> <p>1 漁港の漁業者要望案の検証結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路（港口）や港内への砂の堆積に配慮した調整が必要。 ・南側の護岸などの施設配置と形状については波浪に配慮した形状の調整が必要。 ・泊地や物揚場・斜路などの施設配置の見直しと、合わせて港内静穏度の向上の精査を行い、最も効率的な施設配置を調整する。 <p>◎現状のままではいくつかの課題はあるが、必要な対策を講じることにより改善を図ることは十分可能であり、漁港建設は実現可能であると考えられる。</p> <p>2 漁港の位置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波浪・潮流は総合的にみるとⅡ案が漁船の操船に影響が少ない。 ・漂砂は航路・港内への砂の堆積はⅢ案が最も影響が少ない。 ・海岸変形は候補地中央付近のⅡ案が影響が少ない。 ・自然環境では第Ⅰ案が藻場消失面積が最も少ない。 ・海域利用では第Ⅲ案は漁場として活用され、Ⅰ・Ⅱ案は海浜・海域利用者へ多少の影響がある。最も影響が少ないのはⅡ案。 ・市街地利用との関係では市民の生活環境に配慮し、第Ⅲ案が最も影響が少ない。 ・景観についてはどの候補地でも周辺と調和した配慮が大切。 ・掘り込み式という考えは、第2次漁対協でも議論しているが、都市公園区域のため漁港施設は造れない。また、国道を高架にした場合、相当な費用がかかるため断念した経緯がある。 <p>◎波浪、潮流、漂砂、水質環境、生物環境、海域利用、などを総合すると、漁港建設候補地は「第Ⅱ案」が最適であると判断し、今後「Ⅱ案」を基本として検討を進める。</p> <p>3 市民利用に係る他計画との整合性について</p> <p>鎌倉海浜公園（坂ノ下地区）整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園整備予定区域は都市計画公園区域に指定されており、設置可能施設に漁港施設は含まれない。漁港施設以外で漁業と関連する事業(加工品販売やイベント利用など)について検討したい。 <p>4 全体工程について</p> <p>第1回会議の平成26年度着工を、24年度着工のスケジュールに見直して提示。</p>	<p>審議事項</p> <p>1 今後の協議会の進め方について</p> <p>● 市長あいさつから（松尾市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストに「鎌倉地域の漁港建設の調査費等九千五百万円を見直します」と掲げたが、限られた財源で事業の優先順位を考えると漁港建設について再構築すべきという考えで書いた。 ・台風18号（22年10月）被害を見て何らかの対策は必要であり、将来鎌倉地域の漁業を継続して振興していくためには漁港建設は必要である。 ・第2次から10年が経過し、漁業の将来予測をしつかりと行い計画をたてることも必要である。 ・近海で採れた魚が市民の食卓にのぼるという見え易い漁業の流れも必要であり、地元の人から漁港建設、漁業振興が必要という機運を高めていくことが重要である。 ・漁対協は22年度も継続していただきたい。 ・具体的なスケジュールは24年度からの後期実施計画で明らかにしたい。 	<p>審議事項</p> <p>1 今後の協議会の進め方について</p> <p>第3回会議以降の経過説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は22年度予算案で漁対協開催費用として8万4千円を計上した。（2月議会） ・鎌倉漁協から陳情「(仮称)鎌倉漁港の建設に向けた諸手続きの促進についての陳情」が提出され観光厚生常任委員会で取り扱いを協議し、継続審議となる。 ・市の予算特別委員会の中で委員4名の連名という形で鎌倉漁港関係の800万円の委託料を含む修正予算案が提出された。提案説明では、鎌倉漁港の建設についてきちんと基本構想を策定し位置付けを行っていくべきで、ここで終わられてしまうのは非常に無駄である。きちんと基本構想までは作るべきではないかという趣旨であった。 ・市議会本会議で新年度予算及び修正予算とも可決され、鎌倉漁港の関係では800万円の委託料と8万4千円の報償費などが予算化された。 <p>1 今後の協議会の進め方について</p> <p>会長案として漁対協の下に新たにワーキンググループを組織して検討する案が提案され協議を行ったが、結論を得ることができなかった。</p> <p>議論の途中で、「鎌倉漁港（案）」について、委員の理解が少しずつ異なることが判明した。</p> <p>会長から、次回に今後の会議の進め方について協議するが、その前に、委員全員が共通の認識を持つ必要があるため、これまでの経過を整理して審議したいと提案があり、了承された。</p> <p>さらに、市民への意見聴取の件については、前述の審議結果を踏まえて、方法、時期等について議論することとなった。</p>